

生き直し通信

平成31年2月

発行：(一社)生き直し

会員数：31名

寄付支援者数：41名

*単発寄付や物資等

1月20日
リディラバ
ツアーの
写真



現在までに7名の 刑余者の受け入れ

一般社団法人生き直しでは、自立準備ホーム生き直しへ入居した方々の支援を行っております。

皆さまから頂いた会費を使い、備品や食料（お米等）を購入する代金にさせていただきます。

そして今後の女性施設開設に向けての支度金とさせていただきます。

自立準備ホームとは

自立準備ホームは、あらかじめ保護観察所に登録された NPO 法人、社会福祉法人などが管理する施設の空室等を活用し、行先のない刑余者の帰住先・定住先を確保するための「緊急的住居確保・自立支援対策」として 2011 年度から開始された更生保護分野の制度。*平成29年4月時点で登録事業者数が375。2万人以上の出所者がいて利用者はたったの1500人という現状。



現在までに7名の刑余者が！



この容器が救世主！



Mini Column①
～そんなことで喧嘩？～

○食べ物の恨みは怖い？

今まで駆け込み寺の際の自立準備ホームも含めて70名前後の出所者の方々を見てきたが、揉める原因の第一位はなんと、

「誰がご飯を炊くか」

という単純なもの。

え？そんなことか？と思う方もいらっしゃると思いますが、実際に毎回これで揉めたり喧嘩に発展したりしております。

なので生き直しでは左図のような茶碗一善分を小分けに冷凍できる容器を支給し、各自で自分の分のご飯を炊いて冷凍してもらっています。

これにしてから喧嘩や揉め事が圧倒的に少なくなりました。
やはり食べ物の恨みは怖い？（笑）

Mini Column② ～きな粉マカロニ～

刑務所内では食事が唯一の楽しみなのだそう。

各刑務所によって食事も様々なのだが、その中でも、刑務所で定番のものと言えば「きな粉」なんだそう。

ある刑務所では、マカロニにきな粉をかけたメニューがあるそうのだが、その味にハマってしまう受刑者が結構いて、料理を作る担当の受刑者が、こっそりつまみ食いをして仮釈放が取り消されてしまうなんて事態が頻繁に起こっているらしい。

きな粉マカロニ。。。ちよい気になりますね(笑)



④ 家 (1Rでも可)



皆さまの
ご支援ご協力
お待ちしております

- 自立準備ホーム生き直しでは、左記のものの寄付を募集しております。
- ① 賛助会員 (寄付)
 - ② お米や家に余っている食材等
 - ③ 出所後 6 か月以内の出所者
 - ④ 家 (1Rでも可)



生き直し 代表
千葉龍一

女性の施設設置に向けて！

『生き直し』では、出所した男性向けの施設を運営してまいりましたが、新たに自殺率の高い出所女性を救うべく施設構築に向けて動きだしております。

安定した運営のため月額500円の寄付からあなたも一緒に「生き直せる社会の構築」に貢献してみませんか？

